

一般の部 佳作

朝の音

小松利香子（兵庫県姫路市）

「るるる、るるる」遠慮がちに携帯電話の目覚ましの音が、遠くで静かになっている。
私の耳にも静かに鳴る。

「るるる、るるる」今度こそはと、携帯電話の目覚ましの音がまたなる、
今度こそはと、私も起き上がる。

「ずんずん、ずんずん」とカーテンを開けると、
窓の外に青い空と白い雲が見える。

「ずんずん、ずんずん」ともう一方のカーテンも開けると部屋の中がぱっと明るくなって一度に
朝になる。

「ぽぽぽ、ぽぽぽ」優しい音で炊飯器がゆっくり、ゆっくり動き出している。

「ぽぽぽ、ぽぽぽ」元気を出して炊飯器が湯気を出していい匂いを漂わせている。

「カンカンカン、カンカンカン」電車の踏切の音がだんだん近づいてくる。

「カンカンカン、カンカンカン」家の前にある駅の踏切が鳴りだした。

電車がすぐにやってくる。

「パンパンパン、パンパンパン」と洗濯機から洗濯物を取り出してベランダへ持ってくる。

「パンパンパン、パンパンパン」気持ちのよい空気の中で洗濯物をいっぱい広げて竿にかける。

「トントントン、トントントン」靴を履いて準備する。今日は朝の散歩に出かける。

「トントントン、トントントン」やっと元気になった主人と二人一緒に朝の散歩に出かける。

「おはようございます」

駅で出会う人に声をかける。

「おはようございます」

「おはようございます」

散歩で出会う人々に主人と二人一緒に声をかける。

「あー、よかった、あー、ありがとう」

いつもの朝が戻ってきた。

